

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

- | 事業性質 | 事業小区分 | 種別 |
|----------|-----------------|-------|
| 1 県・委託 | 1 ものづくり産業 | 1 ソフト |
| 2 県・補助 | 2 食産業 | 2 ハード |
| 3 県・負担金 | 3 観光産業 | |
| 4 県・上記以外 | 4 地場産業 | |
| 5 市町村事業 | 5 雇用環境の整備 | |
| | 6 農林水産業 | |
| | 7 地域医療・健康づくり | |
| | 8 子育て・福祉 | |
| | 9 防災・危機管理 | |
| | 10 環境 | |
| | 11 市町村優先の行政システム | |
| | 12 NPO・コミュニティ | |
| | 13 県際・圏域間での連携 | |
| | 14 国体・障害者スポーツ大会 | |
| | 15 その他圏域の課題解決 | |

事業の評価・振り返りを記載

県北広域 振興局

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	北いわて「つながり」創造プロジェクト	経営企画部	3,191,745	3,191,745	1 県・委託	15	ソフト	1 県北広域振興局全戸配布広報誌「北いわて最前線」の発行については、広報誌を県北広域振興圏8市町村の全戸に配布することで、振興局で力を入れている取組や、管内外・隣県と連携して取り組んでいる取組などの周知したい情報について、広くお知らせすることができたが、9月号については、再生可能エネルギーを特集記事とし、県北局管内の市町村等の取組を紹介し、2月号については、震災10年目を特集記事とし、災害の風化防止に繋がるような働きかけを県北管内に行うことができた。 2 SNSによる情報発信及び「復興写真展」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした、復興の現場見学会の代替として実施。復興の様子等を広く発信することができた。
2	北いわて移住・定住推進事業	経営企画部	48,000	48,000	1 県・委託	12	ソフト	県北広域振興局が主催となつての開催及びオンライン形式での開催は初であった。参加者数は少なかつたものの、その分、参加者のニーズに寄り添った内容となつた。 次年度は、参加者数の増大を図るため、周知期間を可能な限り長く行うこと、また、参加者のターゲットを絞ることや、北いわてならではのテーマとするなどとして、他県との差別化を図り、参加者確保に努めたい。
3	カシオペアまち・ひとづくり推進事業	経営企画部	2,303,975	2,303,975	3 県・負担金	12	ソフト	カシオペア情報発信事業について、次年度は情報発信の支援のあり方等についても検討していく。 カシオペア若者カーリング振興事業については、新型コロナウイルスの影響により、ジュニアカーリングスクール回数が例年よりも少なかつた。次年度はカーリングの地元定着を図りながら、カーリング団体の自主化に向けて関係者と調整を進める。
4	北いわての魅力ぐると発信事業	経営企画部	580,340	580,340	3 県・負担金	2	ソフト	新型コロナウイルス感染症の影響で来場者数も例年より少なく、食を通じた三陸地域への誘客促進という事業目的を十分に達成できなかったが、コロナ禍で販売機会が減少している地域の事業者支援につながつたと考えられる。また、感染症対策を適切に行い開催したグルメイベントということで、今後の同様のイベント開催における参考事例になつたと考えられる。
5	北いわて・子ども文化スポーツ体験ひろば	経営企画部	1,264,473	1,264,473	1 県・委託	14	ソフト	従来から継続実施している文化芸術の体験型イベントやプロスポーツ団体の派遣については、児童等からの満足度が高く、毎回好評を博している。 また、今年度から実施した民俗芸能団体の派遣については、後継者不足に悩む民俗芸能団体や地域の伝承教育を行う小学校から感謝された。 今後も、市町村、各種文化・スポーツ団体等が連携・協力し、地域全体で将来に向け、文化芸術・スポーツの振興に取り組んでいく。
6	八戸市との文化スポーツ交流・連携推進事業	経営企画部	248,125	248,125	4 県・上記以外	14	ソフト	今年度初めて実施した「いわてグルージャ盛岡とヴァンラーレ八戸による子どもサッカー交流体験教室」については、北緯40°、ナニヤヤラ連邦会議との共同開催により、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施したが、各地域から多くの児童が参加し、大変好評であった。
7	県北妊産婦安心出産支援事業	管内市町村	2,973,537	1,486,765	2 県・補助	7	ソフト	既に妊産婦に対する交通費支援を実施していた久慈管内の4市町村が現行制度の補助対象を拡充して事業を実施し、二戸管内の4市町村が新規に事業を開始したことにより、当初想定していた補助対象人数、補助金額とも上回り、多くの妊産婦の負担軽減に繋がった。
8	障がい者アート推進事業	保健福祉環境部	154,783	154,783	4 県・上記以外	8	ソフト	久慈地域では、障がい者アートの作品を目にしたり、専門家の指導を受ける機会は多くないが、平成29年度から本事業に取り組み、毎年度、新規参加事業所等が出るなど、関心は高まりつつあり、一定の成果は上げていると思われる。 また、今年度は指標としている「いわて・きららアート・コレクション」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となつたが、同じいわて・きららアート協会が主催した「きららいいん・いわて2021」(インターネットでの展覧会)に久慈管内から2団体が出展するなど新たな動きが見られた。 毎年度、新規で参加する事業所等が出るなど取組は広がっているが、参加事業所等が若干固定化されてきている感があることから、更に裾野を広げていきたい。 なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部事業の中止や規模縮小などを余儀なくされたが、次年度以降もこの状況が続くことを視野に入れた形での実施も検討していきたい。

9	「おでかけi-サボ」で素敵な“❤️”で愛❤️応援!!事業	保健福祉環境部	251,000	251,000	1 県・委託	8	ソフト	<p>セミナー参加者へのアンケートの結果、全ての参加者が「参考になった」との回答であったことから、婚活に係るスキルアップを図ることができたと考える。</p> <p>久慈地域のi-サボ会員数は県内で最も少ないことから、引き続き、i-サボ事業の周知を行うことにより認知度を高めたい。また、結婚を希望する方々に対してセミナーの開催及びi-サボ事業の周知を実施することにより、結婚に対する意識の向上を図りたい。</p> <p>県北広域圏結婚支援担当者会議(久慈)を開催することで市町村との連携を図ることができ、今後も協力して事業を実施していきたい。次年度は、SNS等を活用して、より効果的な周知方法を考えたい。</p>
10	さんてつ魅力発信事業	経営企画部	141,280	141,280	4 県・上記以外	12	ソフト	<p>参加者によるSNSへの投稿を通じて、三陸鉄道の情報が広く拡散されたほか、乗車切符の写真の投稿も条件としたことから、乗車を促す動機となった。</p>
11	持続可能な社会の創り手育成事業	保健福祉環境部	85,078	85,078	4 県・上記以外	10	ソフト	<p>水生生物調査指導者研修会については、県北局管内で水生生物調査が実施されていない野田村内の小学校で実施したことで、水生生物調査を小学校の環境学習で導入していただくためのきっかけ作りが寄与することができたと考える。今後は、水生生物調査の環境学習としての定着化を図るため、引き続き、小学校に対して同様の研修会を開催する等、小学校に対する普及啓発を継続する必要がある。</p> <p>環境業務セミナーについては、アンケート結果が好評であったことから、普及啓発活動という当事業の目的は達成されたと考える。また、セミナーに参加いただいた久慈高等学校より、「学校の進路指導の観点からも当セミナーを企画いただくことは有り難い。」旨の評価をいただいております。人材の育成という大きな目標に対しても貢献できたものと考えている。</p> <p>環境講演会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、三密を避けるための措置(間隔を空けた座席配置・定期的な換気が可能な会場の選定・定員の設定・講演会の様子を撮影し、インターネットを活用しての動画公開の検討等)を講じた上で、次年度の開催を図ることとする。</p> <p>環境を守り育てる人材の育成という目標は、成果が直ぐには現れず、長期的に継続する必要があることから、今後も当事業を継続して取り組むことにより、環境保全意識の普及啓発を図りたい。</p>
12	県北地域における動物愛護思想普及啓発事業	保健福祉環境部	20,959	20,959	4 県・上記以外	10	ソフト	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集客を伴うイベント等については大幅な縮小を余儀なくされたが、それ以外の事業は概ね成果を得ることができた。県北地域は、犬の捕獲等が多い一方、返還率が低い地域であることから、引き続き適正飼養の普及啓発を図っていく必要がある。また、幼齢動物等の飼養管理をボランティアに依頼するとともに、譲渡会を開催し譲渡の機会を増やすことで、譲渡の取組をより推進していく必要がある。さらに、今年度は管内市町村の防災訓練が実施されなかったが、引き続き防災訓練等と連携し、災害時の動物救護対策を推進していく必要がある。これらの取組の継続により、県北地域の動物愛護管理意識の高揚を図っていきたい。</p>
13	北いわて再エネ広域連携推進事業	経営企画部	1,178,740	1,178,740	4 県・上記以外	15	ソフト	<p>北岩手循環共生圏の講演会及び北岩手展の開催により、再生可能エネルギーの社会的、経済的価値の周知に加えて自治体間連携の強化が図られた。</p>
14	農業担い手チャレンジ支援事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会／二戸地方農林水産振興協議会	2,418,000	142,684	2 県・補助	6	ソフト	<p>モデル経営体の経営規模拡大の加速化に向けた取組が実証されたことで、関係機関・団体による管内農業者へのモデル実証の波及効果を期待できる。</p> <p>今後は、関係機関・団体が連携し、地域における農業の担い手確保・育成に向けた取組を継続的に進めていく。</p>
15	「広げよう、農福連携の輪」普及支援事業	農政部／久慈地方農業農村活性化推進協議会	63,350	63,350	1 県・委託	6	ソフト	<p>2つの成果指標について、どちらも大幅に目標が達成され、久慈地域における農福連携の取組が定着してきたと考えられる。</p> <p>一方で、先進地調査や周年作業調査を実施する中で、依頼できる作業の種類や冬期の作業量が少ないこと等の課題に改めて気づくことができた。</p> <p>今後は、久慈地域の農福連携の輪をより一層広げるため、「管内の農福連携に取り組む農業経営体に対する作業改善等のフォローアップ」、「県社協等と連携した意見交換の場の設定や新たな農福連携の志向者等への個別相談」、「生産部会の研修会等の機会を活用した情報提供の検討」等、通常業務の中で、対応していく。</p>
16	“寒じめほうれんそう”生産・需要拡大事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会	417,554	417,554	1 県・委託	6	ソフト	<p>寒じめほうれんそうの販売額を伸ばすことはできなかったが、栽培面積、数量は増加したが、R2年度は単価が下落したため目標を大幅に下回った。</p> <p>また、面積、数量は増加しているため、関係機関で一体となり単価向上に向けた取り組みを行う必要がある。</p> <p>今後は県単事業等の補助事業を活用しながら、産地化の拡大に向けた取り組みを支援していく。</p>
17	短角牛販路拡大事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会	341,880	341,880	1 県・委託	6	ソフト	<p>消費者に対して山形村短角牛に関するPR活動を行い、牛肉需要を拡大すること目的に、山形村短角牛の適切な調理方法を掲載したチラシを3,000部作成し、山形村短角牛取扱店舗で来店者に対して配布したことで新規購入者の増加に寄与したとともに、宅配時の同梱により購入者に対するPRを実施したことにより、山形村短角牛の需要が増加した結果、山形村短角牛の販売額が基準年と比較して6,822千円増加したと考えられる。</p>

18	短角牛肥育経営新規就農モデル実証事業	農政部	225,060	225,060	1 県・委託	6	ソフト	概ね計画どおり混合飼料を採食させ、発育についても慣行法と概ね同程度を確保することができた。一方で、期間後半において一時的な採食量の低下が認められたため、ビタミンや微量ミネラル等の補給に注意して実証を進めた。次年度は、引き続き混合飼料による肥育飼養を継続し、生産された牛肉について食味調査を行うとともに、肥育管理コストを含めた経営収支や就農開始からの経営上の課題等を取りまとめ、新規就農として定着が可能な経営モデルを組み立てる。
19	きりり輝く“むらのお宝”産地化大作戦事業	新たに産地化を目指す活動グループ	210,355	140,985	2 県・補助	6	ソフト	新たに生産・販売活動に取り組まれる作物として、えごま栽培に向けた取組が始まったことから、当初目標は達成されたと考えられる。 また、山菜の販路拡大のため研修会や試食会を行った結果、新たな商品開発の検討に向けて参加者の意欲が高まる効果が見られた。 次年度は、遊休農地活用等の話し合いや活動などに対する補助として事業を継続し、農業をきっかけとした集落ぐるみの取組が活性化するように支援する。
20	カイゼン導入農林水産業経営力向上支援事業	農政部	316,530	316,530	4 県・上記以外	6	ソフト	コロナウイルスの影響により、開催回数が減少したものの、一般的な「カイゼン」の視点・考え方の他、参加者が抱える経営課題に即したディスカッション、講師によるアドバイスは非常に好評であり、ぜひ次年度も継続して参加したいという経営体があった。 カイゼン塾、成果報告会とも、支援機関の担当者が多数参加しており、経営効率化に取り組む経営体への支援体制の充実が期待される。 次年度は事業を継続して、状況に応じて対面・オンライン開催など柔軟に変更することで計画どおりの開催回数とし、「カイゼン」を取り入れた経営効率化に取り組む経営体の拡大および定着を図りたい。
21	御所野遺跡等をテーマにした産直の商品開発等支援事業	農政部	264,415	264,415	4 県・上記以外	6	ソフト	商品開発及び方向性検討会は、新型コロナの影響により実施できなかったことから、次年度開催することとし、商品開発等を支援していく。 接客スキル向上等に係る産直個別研修会については、商品表示や配置等が改善前・改善後で目に見える形で取組効果が示された。 令和2年度に個別研修会に参加した3産直については、次年度も継続して支援することにより、更なるブラッシュアップを図るとともに、自ら改善の取組を継続できるように意識醸成を進める。さらに、新規の産直に対して個別研修会を実施し、管内における取組拡大にを進めていく。
22	日本の「甘茶」生産量拡大大作戦！展開事業	農政部	160,915	160,915	4 県・上記以外	6	ソフト	栽培方法の高位平準化に向け、収量・品質に優れた生産者の作業体系を調査、栽培マニュアルの項目を決めることができた。 早期成園化技術の確立に向けては、実証圃を設置、省力化技術については、リビングマルチ(被覆植物)の絞込をし、生産者に技術周知ができた。
23	フードダイバーシティ支援事業	農政部	438,200	438,200	4 県・上記以外	6	ソフト	新型コロナの影響により、オンラインセミナーとして開催。研修内容については参加者から好評を得ており、飲食関係者から、取組に向けた検討を始めたなどの感想もあり、期待する効果が得られたと考えられる。 一方で、オンライン開催等の制約により、実践的な内容にまでは至っておらず、また、ヴィーガンやベジタリアン等、一般的に食経験がない料理については、知識等だけでは補えない抵抗感も考えられる。 次年度は、事業種別の実践的な取組内容を学ぶためのセミナー等を開催するとともに、ヴィーガン料理を実演・試食できる機会を設け、多くの飲食店・宿泊施設等での取組促進を図りたい。
24	農林水産業みんなで課題解決促進事業	農政部／林務部 水産部	63,399	63,399	1 県・委託	6	ソフト	参加した農林水産業の担い手は、今後も地域おこし協力隊等による視察や体験等を受入れ、各々ができる第一次産業に携わる若者の確保・育成に取り組んで行くこととなった。
25	「林業・木材産業」新規就業者確保支援事業	久慈地方「木の仕事」協議会	426,000	213,000	2 県・補助	6	ソフト	新規卒卒者等の林業・木材産業に関する理解を促進することにより、管内の林業・木材産業の新規就業者は、令和2年4月で4名となった。今後も、継続して、林業・木材産業の認知度向上を支援したい。
26	アカマツ販売チャンネルの新規開拓促進事業	林務部	1,809,241	1,809,241	1 県・委託	6	ソフト	インスタグラムによる情報発信の結果、インプレッション数847件のうち、アカマツなどのハッシュタグ経由が526件あり、ハッシュタグ制定の効果が確認された。 新型コロナウィルス感染症の影響により木材・住宅フェア等の開催困難な状況が続く中、管内の林業・木材関係の6団体が共同し、ビルダー、設計者、一般ユーザー等の多くの閲覧が想定されるWeb展示会「木フェス」に参加し、久慈地域の林業・木材産業を広く情報発信することができたことは、販売チャンネルの新規開拓に向けた前進であったと考えられる。 次年度も、地域の木材加工事業体等と連携し、Web展示会、木材・住宅フェア、常設展示場等への出展し、需要者・消費者に対し久慈地域産の製材品のPRに取り組んでいきたい。
27	久慈地方原木乾しいたけ振興総合対策事業	林務部	56,200	56,200	1 県・委託	6	ソフト	当初予定していた久慈地方産原木乾しいたけの海外でのPR活動や首都圏での販売促進活動などについては、新型コロナウィルス感染症の影響によって中止となり、積極的な販路拡大の取組ができなかった。そのような中、「久慈地方産原木乾しいたけフェア」を開催したところ、久慈地域が原木乾しいたけの一大生産地だと地域住民に認知されていない状況が明らかになった。次年度以降も、新たな販路拡大と地域での認知度向上を併せて取り組んでいきたい。

28	浄法寺漆資源維持造成対策事業	林務部	809,588	809,588	1 県・委託	6	ソフト	今年度育成された漆実生苗木が出荷されることで、従来を大きく超える新たな漆植林の面積が増える見込みとなり、漆資源の増大に繋がる。 また、保育管理の技術を新たな担い手に普及することで、現在の漆資源の維持に繋がる。 次年度も継続して漆実生苗木の生産技術の普及啓発を行い、漆資源の継続的な拡大に繋げたい。
29	北いわて木炭販路拡大促進事業	北いわて木炭産業振興協議会	512,050	266,933	2 県・補助	6	ソフト	今回の取組によって、岩手木炭を航空便で海外に安全に輸送できることが確認され、木炭輸出の本格化に向けて弾みがついた。一方、継続的かつ安定的な輸出を行っていくためには、航空便では輸送コストの高さが難点であることが明らかになった。今後は、木炭輸出に係る課題等をさらに検証するとともに、船便などコストが低い輸送方法を確立できるよう情報収集や関係者との協議を重ねていく必要がある。
30	林業イノベーションによる経営力向上支援事業	林業事業体	586,000	487,530	2 県・補助	6	ソフト	トヨタ自動車の指導を受ける中で、社員自らが考え行動するように変化し、働きやすい環境にむけ作業現場の整理整頓などカイゼンが進んでいる。 また、IT管理ツールを林業向けに改良する過程において、トヨタ自動車担当者が林業現場の作業工程を理解・把握することが必要であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により現地調査に遅れが生じたことから、ツールの改良に遅れが生じた。 このため、令和3年度は、現場社員と打合せを重ねてさらなる改良を進めることとしている。
31	明日の浜人応援事業	水産部	105,002	105,002	1 県・委託	6	ソフト	一般市民の定置網乗船体験は、応募者数が少ない上、体験後の就業実績がなかったことから、体験から就業までつながる様なシステム作りが必要と考えられる。 高校生への座学講習、実習体験は少ないながらも就業の実績があることから、継続し、若齢からの漁業就業意識を醸成が必要と考えられる。
32	餌料対策連携構築事業	水産部	167,970	167,970	4 県・上記以外	6	ソフト	R2年は高水温等のため収量が少なく、kgあたり単価がやや割高になった。また、アンケート調査においても委託生産を希望すると回答した地区の希望する平均単価は55円であり、より単価の安い生産方法を検討する必要がある。
33	漁港泊地高度利用事業	水産部	388,911	388,911	1 県・委託	6	ソフト	天然稚仔の利用が確認できなかった理由として、魚礁の設置がナマコの産卵着底以降であった可能性や、着底期までに貝殻表面に着底を増やす効果のある珪藻類が十分に繁茂していなかった可能性があることから、検証にはもう1期の調査が必要。 また、ナマコは夏眠することから、夏眠期のナマコの隠れ場所としての魚礁の利用があれば、ナマコの生残率向上に寄与すると考えられる。 天然稚仔の利用について継続調査する。また、夏眠期の魚礁の利用状況を調査し、生残率の向上の効果について検証する。
34	革新的増養殖プロジェクト事業	水産部	114,400	114,400	1 県・委託	6	ソフト	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本事業の核となる革新的増養殖市場等調査が実施できなかった。久慈市漁協のギンザケ養殖は令和3年10月に予定している漁業権の途中免許後、正式に事業化して増産する予定である。本事業は久慈産ギンザケを核とした地域振興の方向性を検討するために重要な役割を果たすことから、令和3年度に改めて取り組むこととする。
35	北いわて食産業振興支援事業	経営企画部／ 二戸地区広域商工観光推進協議会	586,540	586,540	1 県・委託	2	ソフト	新型コロナウイルスの影響により一部イベントが中止となり、事業者自身のPR機会は減少したものの、専門家派遣派遣によるアドバースやイーハトーブログなどのSNSによる紹介等により情報発信を支援することで、地域食材や食文化のPRに繋がった。また、魅力ある事業者成長促進支援事業の実施や、各種支援制度の情報を提供することで、補助金等を利用した新事業の実施や売上向上を支援することができた。 令和3年度については、令和2年度中止となった事業もコロナ対策を講じて実施し、事業者が抱える経営課題の解決と地域の食材の認知度向上に取り組んでいく。
36	北いわてものづくり産業人材育成・連携促進事業	経営企画部	1,055,227	1,055,227	3 県・負担金	1	ソフト	県北ものづくり改善塾・改善塾フォローアップ事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送ったが、代替事業により、県北地域のものづくり企業が直面する課題である新型コロナウイルス感染症予防対策へ向けたセミナーを実施し、業務効率の改善等に貢献する取組になった。 管内高校への教材費の支援は、高校生の技術力向上につながる取組となった。 管内企業の人材確保等に、効果的な取組となるよう企業ニーズの把握に努め、取組を実施することができた。
37	北いわてアパレル産業人材育成支援事業	経営企画部	131,883	131,883	3 県・負担金	1	ソフト	コロナウイルスの影響により、学生デザインファッションショー中止に伴いファッションデザイン募集の中止を余儀なくされたが、コロナ対策を講じながらJFW JAPAN CREATIONへの出展を行い、北いわてアパレルの認知度向上に取り組むことができた。R3年度については、R2年度中止となった事業も含めて実施できるよう、関係機関とともにコロナ対策や内容等を調整し事業目的が達成できるよう事業を進めていきたい。
38	北いわての伝統工芸品魅力発信事業	経営企画部	670,000	670,000	1 県・委託	4	ソフト	新型コロナウイルス感染症の流行下において、集客型の取組(イベント)が困難であったことから、そのような状況における伝統工芸振興の取組について、管内市町村や事業者等と連携して検討・実践を継続していく必要がある。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

39	北いわて国内誘客促進事業	経営企画部	1,896,000	1,896,000	1 県・委託	3	ソフト	トレイルイベントについては新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となったが、一般社団法人、地域おこし協力隊、いわて復興応援隊等との連携による誘客促進の取組を進めることができた。 令和3年に発行10周年を迎える「駅-1グルメ」は引き続き三陸鉄道と連携し、テーマ性を持たせた冊子への発行支援を行っていく。 北いわて広域ガイドブックについては、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、まずは近隣地域からの誘客促進につなげるよう活用していく。
40	カシオペア地域資源活用推進事業	二戸地区広域商工観光推進協議会／折爪岳振興協議会	1,867,240	628,000	2 県・補助	3	ソフト	カシオペア連邦アクセスマップの作成や地域情報誌への情報掲載により二戸地域の資源を地域内外にPRすることができた。引き続き地域の観光、自然資源等を広く発信する事業を行う。
41	北いわて未来づくりネットワーク推進事業	経営企画部	75,800	75,800	4 県・上記以外	4	ソフト	新型コロナウイルスの感染症の拡大する中ではあったが、「北いわて未来づくり先進フォーラム」を開催し、ネットワーク会員企業等において、「SDGs」に関する理解を深めることができた。 令和3年度においては、広域振興事業を活用し、産学官及び異業種連携が推進されるよう、取組を進めていく。
42	マンガを活用した三陸沿岸線の飲食店PR事業	「三陸グルメマンガプロジェクト」実行委員会	500,000	500,000	3 県・負担金	2	ソフト	テレビや新聞等のメディアで取り上げられるなど注目度が高く、既に多くのところから問い合わせ・配布の希望が寄せられており、増刷も検討されている。令和3年度についても、新たなテーマでガイドブックを発行し、三陸沿岸道路の利活用による地域活性化を図っていく。
43	日本一の「ヤマブドウ」品質向上支援事業	農政部	393,800	393,800	1 県・委託	6	ソフト	有望系統2系統について、醸造試験の実施によりワイン加工適性を把握し、当事業の目標である、「果樹産地構造改革計画(久慈地方果樹産地協議会)」の「生産を振興する品目・品種」として位置付けることができた。 また、評価会の開催は、管内の生産者や加工業者等に対して、有望系統の特性の早期理解につながった。今後は補助事業等を活用しながら、有望系統の新改植を推進していく。
44	サケ増殖対策環境整備事業	下安家漁業協同組合	1,497,100	893,000	2 県・補助	6	ソフト	今回の事業は、水産単独の事業ではなく、野田村(土砂処分場の選定・提供)、県北局土木部(河口部の土砂浚渫)との連携により実現できた事業である。地域的な重要課題に対して、このように各機関が横断的に対応することで課題解決ができたことは有意義であった。 今後も、同様な課題が発生した際には、積極的に関係機関との連絡調整を図り課題解決に取組むこととしたい。
45	北いわてアパレル産業PR動画作成事業	産業振興室	1,914,500	1,914,500	1 県・委託	1	ハード	動画の製作には、振興会17社すべてが積極的に参加していただいた。今後は動画を活用した効果的な情報発信とPRを継続的にしていく。
46	サケ餌科環境調査事業	水産部	51,590	51,590	4 県・上記以外	6	ソフト	継続的にサンプル採取を行い、放流適期の指導等に活用していく。
47	北いわてテイクアウト応援プロジェクト事業(久慈地域)	経営企画部	727,210	727,210	4 県・上記以外	2	ソフト	テイクアウトを実施する飲食店を宣伝することで、「新しい生活様式」に対応した経済活動の促進・定着を図ることができた。本事業は令和2年度で終了となるが、アプリは運用が続くため、久慈青年会議所と連携しながら利活用の推進に取り組んでいく。
48	コロナに負けるなカシオペア連邦飲食店応援プロジェクト事業	二戸地域振興センター	289,361	289,361	4 県・上記以外	2	ソフト	飲食店の事業継続に向け情報発信の支援を行い、掲載飲食店からは、広報に折り込みとなったことで、幅広い層に情報発信ができたことと影響をいただいた。また、一般の方からは、このエリアの飲食店をまとめて把握できるリーフレットはこれまでなく、参考になるとの声もあり、地域の飲食店の情報発信に一定の効果があつたと考えている。今後もコロナの状況を見ながら、必要に応じた支援を行っていく。
49	久慈地域「海の幸」緊急支援事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	693,694	476,795	2 県・補助	6	ソフト	1 各加工業者等からは、ホームページを改装したことでウニの売上が増えたという声やPRの効果もあり新商品がすぐに完売したなどの声があげられるなどコロナ禍で失われた販売・PRの機会を作ったことで、ウニの需要回復につながることができた。 2 配布したほとんどの消費者に喜ばれた。試供品やパンフレットを配布したことで、食材のPRのほか食べ方の紹介も併せて行うことができ、消費者がすきコンプを食べるきっかけ作りができた。
合 計			34,687,000	28,238,716				